

第 6 章 市民・事業者が取り組む事項

本計画の環境像「地域の豊かな資源を活かし 未来へつなぐ 持続可能な共生都市 いしかり」を目指すためには、第5章「推進体制と進行管理」で示したとおり、市、事業者及び市民の3者が、それぞれの責務に応じた役割分担と協働が重要となります。ここでは、私たち一人ひとりが市民として取り組むべきこと、また事業者として取り組むべきことを挙げています。なお、各主体の取り組むべき事項については、「いしかり eco 未来会議」（市民会議）で話し合われた環境行動プランの内容を踏まえています。

1 市民が取り組むこと

私たち一人ひとりが環境に対する意識を高め、そして様々な取り組みを積極的に実施することが求められています。日々の生活の中で日常的にできることや、人生（生活）の節目に取り組めることなど、様々な場面で環境への意識を持ち、継続的に取り組みましょう。

省エネ 行 動

- 自動車を購入する際は、電気自動車や燃費及び排気ガスなどの環境性能に優れた車種を選びます。
- 自動車の排気ガス削減のため、エコドライブに努めます。
- 使用していない電気（照明、テレビなど）は消します。
- 可能な時は自転車、徒歩、バスなどで移動します。
- 引っ越しやマイホームを建てる際は、スマートホーム※を選びます。
- 電化製品の買い替えにあたっては、積極的に省エネ家電を購入します。
- 着衣の工夫や外気、太陽光を取り入れるなど、冷暖房の設定温度を見直します。
- 太陽光発電やペレットストーブの導入など、自然エネルギーの活用を検討します。

ごみの 減 量

- 商品の過剰包装を断り、エコバックの使用を心掛け、使い捨て容器の使用を避けます。
- 徹底したごみの分別を心掛けます。
- 食品はできるだけ食べきり、生ごみは水切りして減量してから捨てます。
- 使用しなくなったものは、フリーマーケットに出品するなどリサイクルを心掛けます。
- 手入れや修理をしながら、ものを大切に使い、再利用にも努めます。

※スマートホーム：IoT（モノのインターネット）やAIなどの技術を活用した住宅

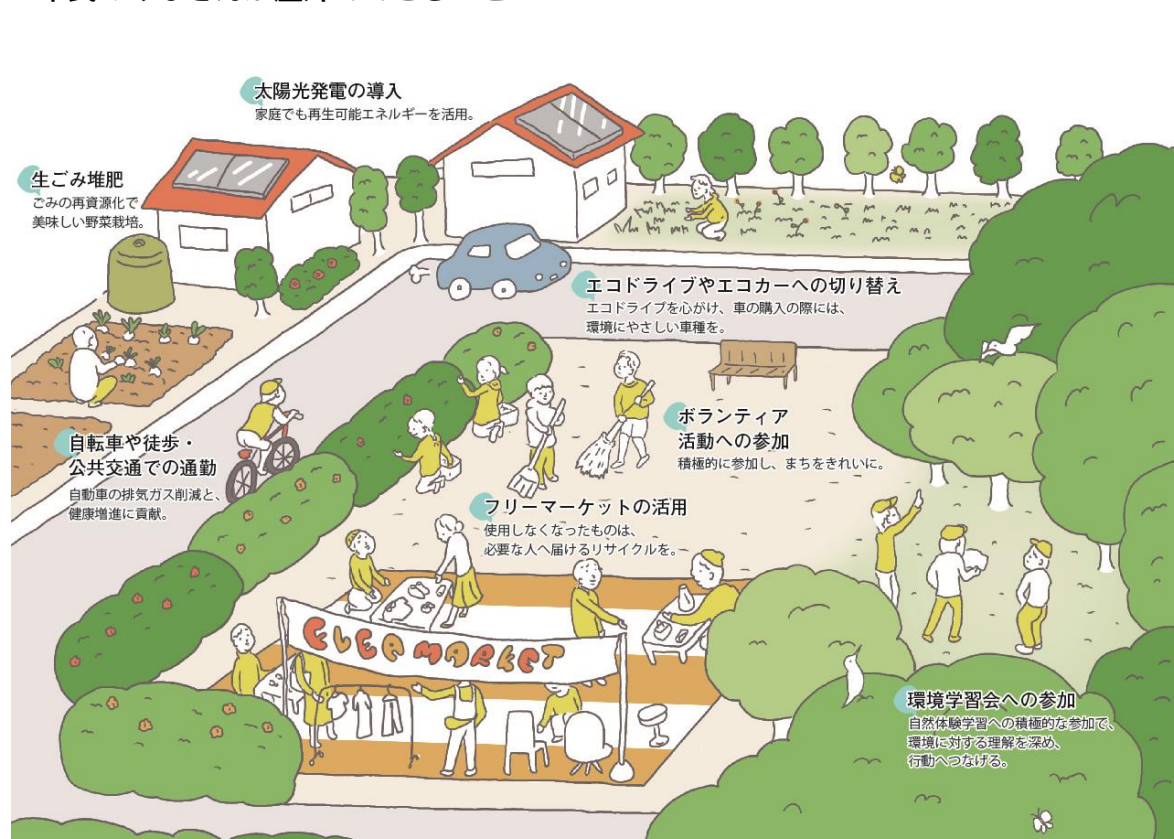
環境に
対する積極
的な行動

- 市内で活動している環境ボランティア団体などへ積極的に参加します。
- 自然体験学習などの環境学習などへ積極的に参加します。
- 環境に関する情報を積極的に収集し、自ら環境配慮について考え、行動へ移します。
- 環境問題を意識し、環境情報を公開している生産者や販売店による製品やサービスを選択します。
- エコマークやグリーンマークなどの環境ラベルを目安に、環境負荷の少ない製品を選びます。
- 庭や畑、公園など、身近な場所や地域から緑を増やしていきます。
- 輸送や生産に必要なエネルギーが少ない、地産地消や旬の食材の購入を心掛けます。
- 環境保全活動に関する情報交換や共有を図り、人の繋がりを広げます。
- 世界で起きている環境問題と私たちの生活との関連を考え、解決に向けて身近にできることから行動します。
- 水環境への負荷を減らすためにも、洗剤の購入の際には、成分表示を確認することや使用量を適量にするなどの意識を心掛けます。

■市民のみなさんが室内でできること



■市民のみなさんが屋外でできること



2 事業者が取り組むこと

事業活動は地域の経済を支えており、地域活性化の一つとして重要な役割を担っていると同時に、事業活動における環境への負荷もあることから、事業者自らがその意識を持ち、地域に根付いた事業活動を進めることが大切です。環境に配慮した活動、取り組みを再度確認してみましょう。

省エネ 行 動

- 事業所などの建物を建て替える際には、エネルギー消費ゼロを目指す ZEB※や ZEH※を検討します。
- 省エネルギー性能の高い設備・機器等、高効率な設備への更新を検討します。
- EMS※などにより、事業所のエネルギー利用を管理し、省資源・省エネ対策を進めます。
- 従業員の公共交通機関の利用やエコドライブの推奨、電気自動車などの環境性能にすぐれた車種の導入、輸配送の効率化など事業活動による低炭素化を進めます。
- 太陽光発電やペレットストーブの導入など、自然エネルギーの活用を検討します。

ごみの 減 量

- すぐにごみとして排出されるものを作らない、使わない、つけない、売らない、また分別しやすくするなど、4 Rの推進に協力します。
- 各種リサイクル法に基づくリサイクルの推進、また再生品の利用・活用など循環型社会の構築に貢献します。
- 事業所での省資源化・再資源化を進め、事業系ごみの排出や産業廃棄物の減量に取り組みます。

環境に対 する積極 的な行動

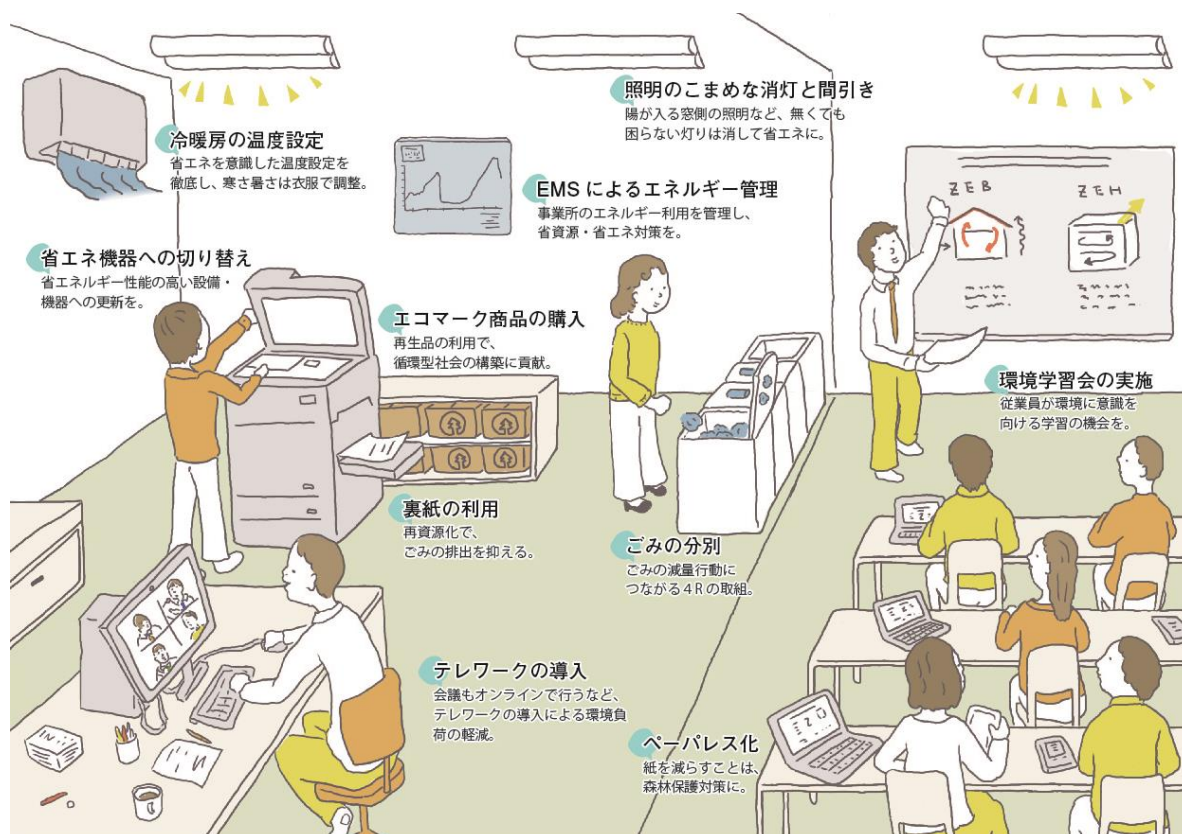
- 工場や事業所における騒音・振動・悪臭の防止に努めます。
- 従業員の環境学習や体験学習への積極的な参加を促すなど、自然とふれあう機会の提供やきっかけづくりの支援を推進します。
- 市民・民間団体・市が行う環境保全活動や地域の清掃、美化活動などに参加・協力します。
- エコマークやグリーンマークなどの環境ラベルを目安に、環境負荷の少ない製品を選びます。
- 事業活動における自然環境への配慮に努めます。
- 建物の屋上・壁面緑化を推進します。

※ ZEB：「ゼロエネルギービル」の略称。建築構造や設備の省エネルギー、再生可能エネルギー・未利用エネルギーの活用、地域内でのエネルギーの内面（相互）利用の対策をうまく組み合わせることにより、エネルギーを自給自足し、化石燃料などから得るエネルギー消費量がゼロ、あるいはおおむねゼロとなる建築物のこと

※ ZEH：「ゼロエネルギーハウス」の略称。自宅で「創るエネルギー」が「使うエネルギー」よりも大きい住宅のこと

※ EMS：「エネルギーマネジメントシステム」。施設内の使用電力を見える化してくれるシステム。または、見える化に加えて、使用電力を制御してくれるシステムや設備のこと

■事業者のみなさんが室内でできること



■事業者のみなさんが屋外でできること

